


**中学生・高校生による人工光合成研究
拠点見学**

2018年11月15日(木)に、東山中学校ロボット研究会の皆さんが、人工光合成研究センターを見学しました。見学の主な目的は、人工光合成研究を手掛かりに「宇宙での酸素供給」について考えることだそうです。

まず天尾豊所長が、人工光合成について、光照射によって水が分解され水素と酸素ができる仕組みから説明しました。学生の皆さんは、とても熱心に話しを聞きメモを取っていました。質問タイムでは、「人工光合成に利用される水は海水や汚水でも大丈夫なのか」「光触媒が使用できない環境は?」「高熱にも耐えられるのか?気圧が高くて大丈夫?」等と次々と質問が挙がりました。光触媒は蛍光灯くらいの光があれば使用可能、高温でも高圧でも装置内の環境さえ整えば人工光合成は可能であること等々、各質問に対して分かりやすく答えていました。

その後皆さんは、人工光合成に関する様々な装置や光ダクトがある実験室を興味深く見学していました。また、タンパク質を扱う実験などに利用される低温室に入り、低温4℃を体験し歓声を挙げていました。



講義を熱心に聴く学生の皆さん

2018年12月17日(月)には、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎の、日本人・タイ人の学生29名と教員7名が人工光合成研究センターを見学しました。まず人工光合成研究センターの紹介DVDを視聴し、川上恵典特任准教授の案内のもと、光ダクト実験室や化学実験室、大型最先端分析機器(XRD・NMR・FT-MS)などを見学しました。皆さんは、人工光合成に深く興味を示し、説明している時にも様々な質問が挙がり、川上先生が、一つ一つ英語で丁寧に答えていました。

大型分析装置について説明する川上恵典先生



人工光合成研究センターでは、このような見学会も随時実施しています。この他、当研究センターに関するお知らせや講演会開催の案内など、最新情報をホームページやFacebookに掲載しています。是非チェックしてください。